

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2017 年度一般入学試験（後期募集・2月18日分）－

試験科目：商法

1. 出題趣旨

株式会社の取締役の選任を議題とする株主総会の招集手続に瑕疵があった場合に、株主がどのような法的手段をとることができるのかについて、また、取締役選任決議取消しの訴えの係属中に、当該取締役がすべて任期満了によって退任し、その後の株主総会の決議によって取締役が新たに選任された場合に、当該訴えがどのような取扱いを受けることとなるのかについて、会社法上の規律の基本的な理解を問う問題である。

2. 採点実感

第1決議の取消原因については、大半の答案が指摘できていた。しかし、第1決議取消しの訴えの係属中に、当該決議に基づいて選任された取締役がすべて任期満了によって退任し、その後の株主総会の決議によって取締役が新たに選任された場合に当該訴えがどのような取扱いを受けることとなるのかについては、正確に論じられていない答案も見られた。

3. 学習方法

会社法についての基本的知識を正確に理解し、的確に使いこなすことができるようになるために、条文、基本書および判例集を読み込むとともに、短答式問題および簡単な論文式（事例）問題を解くという作業を地道に続けて下さい。

以上